

2025 年 秋の中央ヨーロッパ剣道交流の報告

期 間：2025 年 10 月 3 日（金）～10 月 14 日（火）

訪問国：ギリシャ（アテネ）、スイス（チューリッヒ）、オーストリア（ウィーン・フェルステンフェルド）

目 的：剣道を国際社会に広め、現地の剣士と交流することで交剣知愛を深める。

参加者：野口慎一郎（九州）、曾根孝悦（東北）、那須純生（九州）永田敬生（関東）岩城昌志（関東）
志知 照子（東海）、奥様を含めて総勢 8 名

10 月 3 日（金）

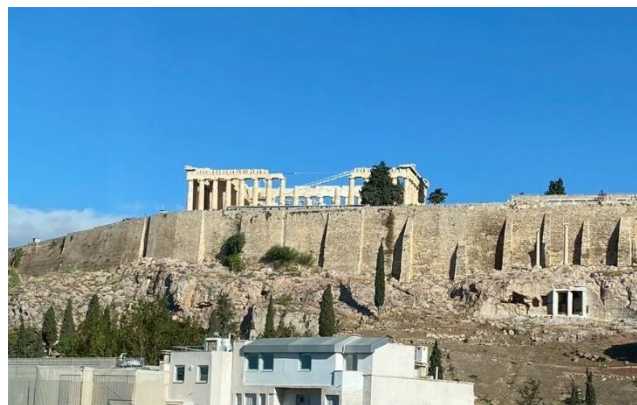
◎成田から曾根夫妻、岩城先生、永田先生が、関西空港から野口夫妻、那須先生、志知がカタールのドーハに向けて出発しました。

10 月 4 日（土）

◎ドーハ空港で合流、アテネに向かいました。空港では新井良先生（野口先生の大学の後輩）が出迎えてくださいました。

午前中新井先生の奥様ナターシャさんの案内でアクロポリス博物館へ入り、4 階の展望台からパルテノン神殿を見上げました。紺碧の空に白い神殿が映えて美しかったです。カフェでギリシャコーヒー（粉が丸ごとはいってる）を経験しました。ナターシャさんから「スリ、置き引きに注意するように」と忠告されながら散策をしました。

◎13：00～15：00、地元の方々35 人とイスラエルからの 4 人に対して、こちらの 6 人が元立って地稽古をしました。終わって、野口先生が「去年に引き続き来ることができました。遠くから集まってくださったようでありがとうございます。」と、感謝を述べられました。その後は懇親会で第 1 日目を無事迎えられたことを喜び合いました。



10/4 パルテノン神殿



10/4 新井先生とナターシャさんと会食

10 月 5 日（日）

◎ 早朝から 近くの公園を散歩したり、考古学博物館を見学したり、休息したりと思い思いに過ごしました。

◎ 午後から地元の方々約 25 人とイスラエルから参加の方々を加えて 4 段以上と 3 段以下に分けて基本技の稽古をしました。終わって、野口先生が「昨年お会いした方々と今年も会えてうれしい。剣道はたとえ 20 分でも続けていくことでより高みに上がることができます。」と挨拶されました。





このたび、在ギリシャ日本大使館とペリステリ剣友会共催のもと、第6回目を迎える剣道入門イベント、「Let's 剣 Do! 6」が開催されます。イベントでは、はじめにペリステリ剣友会の新井良先生より剣道の基本的な技や所作について紹介されます。続いて、日本から剣道の最高位である範士八段の野口慎一郎先生と教士八段の曾根孝悦先生を迎えて、剣道指導者としてのご経験についてお話いただきます。最後に、竹刀を用いて実際に剣道を体験いただけるコーナーもあり、どなたでも参加できます。

◎5時から日本大使館に移動しました。『剣道』を紹介するイベントに出演するためです。

40人ほどの聴衆が集まってくださいました。まず、野口先生が「なぜ剣道は礼を大切にするか」について、曾根先生が「礼を心に思うだけでなく形として表しているのが剣道」と講演されました。おふたりとも「剣道は打って（相手に）感謝、打たれて感謝、場所に感謝、家族に感謝、地域に感謝、ひいてはそれが世界の平和につながる」と締めくくられました。

次に両先生による日本剣道形を太刀の3本目まで、岩城先生と志知が剣道具をつけて木刀による剣道基本技稽古法の1本目を竹刀で披露しました。その後聴衆の方々に竹刀を渡して「面、小手、胴」を打ってもらいました。人を打つことに躊躇される方が多く、当たると目を輝かせて、そしてすまなさそうにされるしぐさが印象的でした。

最後にフェンシングを経験された方から「フェンシングと剣道の違いは何か？」と質問がありました。野口先生が「フェンシングは前後の動きだけ、剣道は横の動きもある。フェンシングは線、剣道は面」と答えられました。新聞社の取材もありました。



10/5 大使館前



10/5 講演中の野口先生



10/5 剣道体験

10月6日（月）

◎アテネからチューリッヒに移動しました。ゲーリー館長先生夫人の三恵子さんが出迎え、案内してくださいました。夕方の稽古まで市内観光をして、宮殿のようなチューリッヒ工科大学のテラスから市内を一望しました。構内は現代的なインテリアがしっかりと組み込まれていました。ゴシック建築の教会の中は信者が座る椅子しかありませんでした。元はカトリックで装飾もふんだんにあったでしょうが、宗教改革で何もかも取っ払ってしまったんだそうです。



10/6 右端が三恵子さん

◎17:00~18:00まで20人ほどの方と指導稽古。終わってから野口先生が講評で「打たれるのをいやがってはいけません。打たれるのは自分が未熟だからです。打たれたのを反省して工夫することで上達があります」と述べられました。

10月7日（火）

◎チューリッヒ2日目はアルプス観光で三恵子さんに案内してもらいました。チューリッヒからアイガー北壁の間近までの日帰り旅行は三恵子さんのガイド無しではなし得ませんでした。分刻みでホームからホームへ乗り継ぎました。到着してアイガー、ニッケ、ユングフラウの3峰を目の前にしたときは、スイスの人が誇りに思い、多くの人がこの山を目指すのがわかる気がしました。山を愛した新田次郎の万年筆が埋められている碑の前で手を合わせました。昼食にバーガーを食べました。値段は日本の3倍です。



10/7 アルプスにて



10/7 新田次郎の碑



10/7 中央がゲーリー館長

◎20:00~21:00 指導稽古。講評では曾根先生が「立ち合いの作法をきちんとやってほしい」、野口先生からは「1日20分から30分でいいから時間を削って稽古を続けてほしい」とありました。

10月8日（水）

◎チューリッヒからオーストリアのウィーンに移動しました。雲海の上に突き出たアルプスの鋭い峰々が神々しかったです。夜は篠原優美さん（留学中）お勧めのオペレッタ『こうもり』を鑑賞しました。

「夜遊びが過ぎる夫を妻がこらしめる」お話で、目や耳の肥えたウィーンの方々が大喝采でした。



10/8 飛行機から見た雲海



10/8 劇場にて



10/8 真ん中、篠原さん

10月9日（木）

◎早朝は近くを散歩、ショッピングをしたり、歩道に張り出したカフェで一息入れたりしました。10時、小宮あかりさん（ピアノ教師、昨年もお世話になりました）の案内で、郊外のシェンブルン宮殿に行きました。王族の居室をめぐるとツアーは2時間待ちなので、公式行事に使用された部屋をめぐるとツアーに入りました。白と金の華麗な漆喰装飾、クリスタルの鏡、天井のフレスコ画を含む大ギャラリーは総合芸術です。マリアテレジア、モーツァルト、マリアアントワネット、世界史で習った名前が次々と思い起こされました。

その後、夕方までシュテファン広場の周辺を散策しました。オペラ座からシュテファン大聖堂、皇妃エリザベートが愛したザッハトルテの店、さらに聖ペーター教会へと。教会は豪華な装飾が多く、プロテスタントとカトリックの違いを見せられました。さらに、王宮を抜けて美術史博物館まで足をのぼし



10/9 大ギャラリー

ました。博物館は大理石がふんだんに使われていて無駄の少ない日本の美術館とは違うなと思いました。ラファエロ、ベラスケス、ブリューゲル、フェルメールなど、作家ごとに部屋があてがわれていました。ラファエロの『草上の聖母』は思っていたより大きく、優しい筆遣いを見ることができました。



10/9 大聖堂前

◎夜、地元の方々と稽古。終わって懇親会。ヨーロッパ剣道連盟会長ハウク先生、ウィーン剣道連盟クラブ会長ロート先生も出席してくださいました。ハウク先生は日本では絶対飲めない発酵途中のワインを勧めてくださいました。目の覚めるようなさわやかな味でした。



10/9 ウィーンの方々と



10/9 左から3人目、小宮さん

10月10日（金）
◎ウィーンからフルステンフェルドに移動、途中チョコレート工場に立ち寄りました。案内してくださったグラーツの無門館村上先生から「試食は300ヶ所あります。初めから飛ばさないように。あとから気持ち悪くなります」と注意がありました。なるほど豆の原産地や練り込み時間の違い、添加物の違いごとに試食があるのでした。おもしろかったのは、日本の回転寿司のレーン上を色々なチョコレートがぐるぐるまわっていてつまみ食いできるものや、ロボットアームが希望したチョコレートをじらしながら渡してくれるコーナーなどです。

◎スポーツセンターにチェックインのあと、昼食、14：30から30分の打合せ、村上先生の提案で3グループに分かれて指導することになりました。

	基 準	担 当
成熟化グループ	五段以上、または40歳以上	野口先生、那須先生
強化練習グループ	四段以下	曽根先生、永田先生
子供および初心者グループ	初段以下	岩城先生、志知

16：30から6回目の稽古が始まりました。



10/10 チョコレート工場



10/10 合宿所



10/10 左端、村上先生

10月11日（土）

◎合宿2日目、早朝6：30～7：10まで六段以上が元に立って指導稽古、
7：10～7：30まで六段以上と五段以下に分かれて3分の周り稽古。

◎9：30～12：00 朝稽古

	担 当	テ ー マ
壮年部 14 人（32～59 歳）	野口先生、那須先生	刃筋正しい打突
青年部 15 人（16～34 歳）	曾根先生、永田先生	礼法と追い込み稽古
初心者 10 人（8～22, 58 歳）	岩城先生、志知	立ち合いの作法と基本の打突

青年部は目を輝かせながら息を切らしていました。終わって、野口先生の講評は「去年お会いした人と今年もお会いできました。確実に上達しておられるのがうれしいです。この合宿で学んだことをこれから繰り返し練習して身につけていってほしいです。剣道は続ければ確実に上達します。」と述べられました。遠方ではクロアチアから4人、イタリアから2人の参加がありました。彼らは車で6時間以上かけて合宿所に来たそうです。皆さんめったにない機会に学ぼうと食らいついておられました。

◎15：00～17：00 まで日本剣道形

	担 当	テ ー マ
壮年部 14 人（32～59 歳）	野口先生、那須先生	太刀7本・小太刀3本
青年部 15 人（16～34 歳）	曾根先生、永田先生	太刀7本
初心者 8 人（11～22, 58 歳）	岩城先生、志知	太刀6本目まで

17：00～17：40 六段以上が元に立っての指導稽古

17：40～18：00、六段以上と五段以下に分かれて3分の周り稽古をしました。

◎合宿所はグラーツから車で1時間の丘陵地帯の小さな町にあります。少し肌寒さを感じる季節ですが室内は暖房がきいて快適です。ビュッフェの食事もおいしく、子供から大人まで親しく交われる空間になっています。小さな子供連れのご家族もありました。隙間時間には近くのスーパーへ買い物に行くと、クリスマスカレンダーや菓子シュトーレンが山積みになっていて年末が近いのを実感しました。



10/11 スーパーへの道



10/11 那須先生



10/11 岩城先生

10月12日（日）

◎ 合宿3日目 早朝6：30～7：10まで六段以上が元に立っての指導稽古、
7：10～7：30まで六段以上と五段以下に分かれて3分の周り稽古。

◎ 9：30～12：00 技の稽古

	担 当	テ ー マ
壮年部 15 人（32～59 歳）	野口先生、那須先生	応じ技の稽古
青年部 17 人（16～34 歳）	曾根先生、永田先生	基本技と崩し技の稽古
初心者 8 人（11～22, 58 歳）	岩城先生、志知	基本技と応じ技の稽古

この稽古が終わると遠方から来ている人達からチェックアウトして行かれました。

◎14：00～15：00 昇段審査を意識した立合い研修

野口先生が一人一人に温かく懇切丁寧なアドバイスをしてみえました。

15：00～15：40 六段以上が元に立っての指導稽古、

15：40～16：00 六段以上と五段以下に分かれて3分の周り稽古。

講評で野口先生が「剣道を続けてください。そして、またお会いしましょう」と締めくくられました。

終わって、長い行列が先生方の前に並びました。手振り身振りを交えた指導を見落とすまい、聞き落とすまいという真剣な気持ちが伝わります。日本の先生から直接指導を受けられるといううれしさと感謝の気持ちがあふれています。こちらでも命の洗濯をさせてもらったという感謝の気持ちが沸いてきました。

なお、奥様方は稽古の間中、道場の隅から見守ってくださり、全員の体調を気遣ってくださいました。



10/12 審査研修



10/12 壮年グループ



10/12 青年グループ



10/12 初心者グループ





10/12 前列左から野口夫人、志知、永田、那須、野口、曾根、岩城、村上（敬称略）

◎夕食は近くのレストランに出ました。日本からの8人と村上先生とお子さんら4人です。ウィンナシュニツェル（たたきのばした肉をトンカツ風にしたもの）と野菜のグリルを肴にビール、ワインで乾杯をしました。村上先生が野口先生に「どう打てばいいんですか」と質問したところ「ただ打てばいいんです」と返されて、ますます悩んでしまった話などで大いに盛り上がりました。



10/12 最後のディナー



10月13日（月）

◎合宿所を出て空港に向かいました。来た時よりも黄色い葉が増えて秋の深まりを感じました。

ウィーンからドーハへ。ドーハで成田組と関西組に分かれました。

10月14日（火）

◎各空港に到着、10日後の全国例会（東京）での再会を約して解散、家路につきました。帰路の途中、LINEで感謝の言葉と夕餉の日本食の写真が次々と届きました。

終わりに

◎9泊12日の滞在で13回の稽古はきついスケジュールでしたが、どの回も気を抜けない厳しい稽古になりました。食欲に学びたい方々と剣道を伝えたい我々の熱意が相乗効果を生んだと思います。

私自身も剣道を見直すまたとない機会となりました。今回の研修では旅行の手配などで岩城先生にお世話になりました。ありがとうございました。

最後に 合宿後すぐに行われた審査会で、おひとり四段に合格したという嬉しい知らせがありました。また、ギリシャの日本大使館のホームページに『剣道入門』の報告がアップされました。

https://www.gr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/report_letskeno6.html



10/10 フュルスフェルドの合宿 稽古始め



10/11 永田先生と志知



10/12 曽根先生 と

ウィーン剣道連盟クラブ会長ロート先生親子